

# 【改定版】 77GHzレーダセンサ搭載車両のバンパー補修について



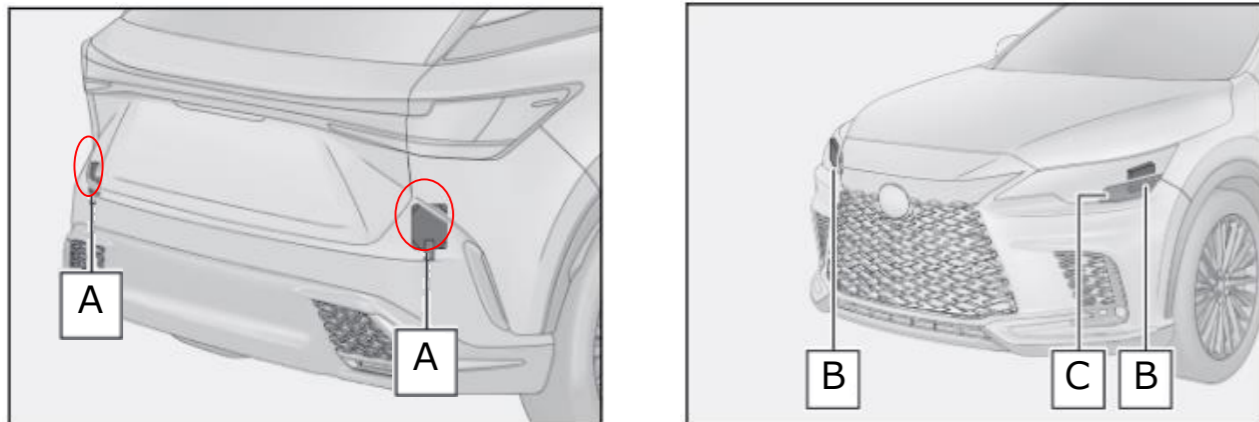
2023.03.09

## 1. 77GHzレーダセンサとは

2022年11月17日に予約開始されたLEXUS「新型RX」より77GHzのブラインドスポットモニターセンサー及び前側方レーダセンサが採用されました。従来、ブラインドスポットモニターセンサーや前側方レーダセンサの周波数は「24GHz」でしたが、周辺検知性能向上のために「77GHz」が使用されることとなりました。

## 2. 77GHzレーダセンサの位置

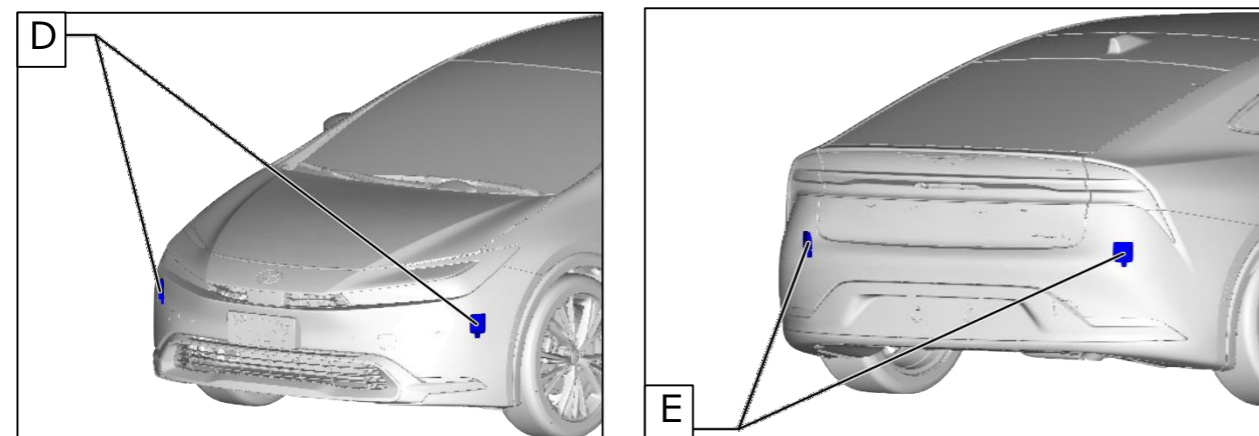
【レーダセンサ搭載位置 例：LEXUS新型RX】



A:ブラインドスポットモニターセンサー B:前側方レーダセンサ C:専用カバー

※新型RXの前側方レーダセンサはバンパ補修の影響を受けません。

【レーダセンサ搭載位置 TOYOTA新型PRIUS】



D:前側方レーダセンサ E:ブラインドスポットモニターセンサー

正常に透過しない場合、システムが作動しなくなる可能性があります。(警告ランプ点灯等)  
そのため、補修に関する手順、注意点は**カーメーカーが発行しているボデー修理書**に記載されていますので、作業前に必ず、ボデー修理書を確認してから作業する必要があります。  
※従来よりブラインドスポットモニターの補修前にはボデー修理書の確認が必要です。

## 77GHzレーダ搭載車採用塗色(2023年3月時点, 都度更新予定)

LEXUS	「RX」	2022年11月発売			
083	085	1J7	1L1	1L2	223
3R1	4Y5	6X4	8X1	8X5	
TOYOTA	「PRIUS」	2023年1月発売			
089	1M2	218	3U5	5C5	8Q4

## 3. バンパ補修の禁止・注意事項

- ①電波照射範囲に亀裂、穴あきがある場合は、補修不可。バンパカバーの交換が必要です。
- ②電波照射範囲にはパテ付けはできません。
- ③バンパー裏側への塗装の際は、バンパ裏側の電波照射範囲に塗料が付着しないようにすること。
- ④電波照射範囲に塗装の境界(色決めやぼかしの境界)を設けた塗装作業はできません。
  - ・カラーベース層については境界を設けず電波照射範囲を全て塗装する必要があります。
  - ・プラサフ、クリヤーは電波照射範囲にはぼかしの境界が来ても問題はありません。
- ⑤旧塗膜への重ね塗りについては、下記に注意してください。
  - ・塗装修理(再塗装も含む)の際は、バンパの素地が露出するまで旧塗膜を剥離すること。
  - ・旧塗膜剥離の際は、バンパ素地へ与えるダメージは最小限に抑えること。
  - ・研磨の際は、#240より粗い番手は使用しないこと。
- ⑥カラーベースを塗りすぎないように注意してください。
  - ・使用するベースコートの標準塗装回数を超えないように調整してください。
  - ・電波照射範囲で塗り継ぎをしないこと。
- ⑦電波照射範囲のあるプラサフや塗料で埋まる程度の傷については、補修可能です。

※照射範囲等の詳細につきましては、メーカー発行のボデー修理書をご確認ください。

## 4. 使用する塗色配合と塗装方法について

77GHzレーダはバンパーを透過する際に塗膜の**膜厚や顔料等(特にアルミ顔料)**の影響を受けやすい性質があります。そのため下記にご留意ください。

- ①塗色配合は、**電波透過性能を確認している配合**を使用してください。
- ②3コートパール塗色については、電波透過性能を確認している配合から微調整が可能です。
- ③2コートメタリック、2コートメタリックパールは、電波透過性能を確認している配合からメタリックの減量は可能ですが、増量は控えてください。
- ④塗装仕様書記載の**「標準塗装回数」を守って塗装**してください。  
特にメタリック塗色の場合は、膜厚が厚くなると影響が出やすいため注意してください。

## 配合.jp 77GHzレーダ電波透過性能確認済み配合検索について

カーメーカーに「トヨタ(77GHz対応)」を追加しました。  
「トヨタ(77GHz対応)」を選択して検索してください。

